

附属中学校の入学者の決定について

1 志願資格

小学校等を卒業又は修了する見込みの者で、保護者とともに県内に住所を有する者とする。

2 学区

横浜市内全域とする。ただし、学区外入学許可限度数は、別に定める割合の範囲内とする。

3 選考方法

適性検査及び調査書等により、横浜市立中高一貫教育校で学習をするために求められる資質、能力などの基礎的な力を測るとともに、学ぶ意欲や基礎的な学習の状況を見て総合的に選考し、入学者を決定する。

(1) 適性検査（例）

適性検査Ⅰ：文章や資料等を読み取り、課題を理解し、解決に向けて筋道を立てて考え、表現する力を測る。

適性検査Ⅱ：数理的な問題や自然科学的な問題等を理解し、解決に向けて筋道を立てて考え、表現する力を測る。

(2) 調査書

今後の学習につながる基礎的な学習の状況を見る。

4 入学定員

附属中学校

1 学年 160 人（4 学級）の募集とする。

適性検査 I

- 1 **みなみさん**のグループは、**横浜開港**の歴史について研究しています。発表内容として、次の**A**～**E**の5つを考えて発表することにしました。

A 条約を結んだ結果、開港は翌年の6月2日に決まりました。ところが、いざ開港場を決めるときになって、外国側と幕府側で意見がちがったのです。幕府は、外国が要求している神奈川は、外国人との争いや取りしまりに問題があると考え、江戸につながる東海道からはなれた横浜の方が安心でき、また海も深く大型の船が入れるため横浜を選びました。

B 横浜が開港されると、世界各地から外国商人が居留地（貿易を行うために外国人が住むことをゆるされた土地）に店をかまえ、日本人も全国から横浜に集まって商売を行うようになりました。また中国人も住むようになり、今の中華街のもとがつくられていきました。その頃の輸出品の第1位は生糸です。多くの生糸が横浜に集められ、外国に輸出されました。

C 江戸幕府の大老の井伊直弼は、反対派の意見をおさえ、朝廷の許可を得ないまま、アメリカと日米修好通商条約を結びました。その結果、神奈川は貿易を行う開港場のひとつとして決められました。この条約は自由な貿易を行うための取り決めでしたが、その中には、外国人の犯罪の裁判ができないことなど、不平等な内容が含まれていました。

D 浦賀沖に4せきの船とともにペリーがやってきました。その翌年、再び8せきの船でやってきたペリーは、横浜に上陸しました。ペリー艦隊を、人々は宿屋から熱心にながめました。中には、上陸してきた水兵や通訳に近づき、話をしたりする人もいました。横浜の応接所で始まった会談によって、日米和親条約が結ばれました。

E 横浜では、居留地（貿易を行うために外国人が住むことをゆるされた土地）との間に川を作り、その川の橋のたもとに関門を作りました。この結果、開港場は周囲を海と川に挟まれた出島となり、関門の内側（出島の中）は「関内」と呼ばれるようになりました。

適性検査Ⅱ

1 **みなみさん**は、振り子の運動について調べてみようとして、次のような**実験**を計画しました。**表**は、振り子のおもりの重さ、おもりの振れ幅の関係と糸の長さ (cm) 及び実験結果の関係を整理したものです。

この実験について、次の**[問題1]**に答えなさい。ただし、空気の**影響** (いわゆる空気抵抗) や糸の**影響** (摩擦) は、考えないものとします。

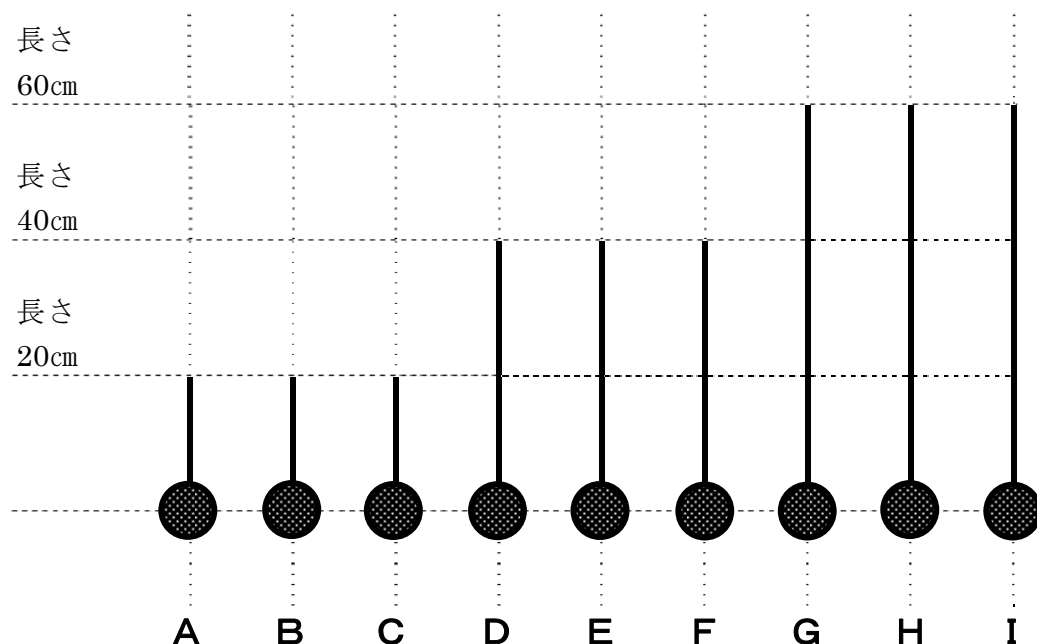
実験 ①重さは違うが、同じ大きさ、同じ形、同じ材質のおもりを使って、同じ糸を使い、糸の長さを変えて振り子を作る。
 ②次の**表**や**図**のように、おもりの重さ、振れ幅、糸の長さを変えて、それぞれの振り子のおもりが1往復する時間を測定し、その結果の関係を**表**に整理する。

表 振り子のおもりの重さ、おもりの振れ幅の関係と糸の長さ (cm) 及び実験結果の関係

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
おもりの重さ	1	2	1	1	3	1	1	4	1
おもりの振れ幅	1	1	2	1	1	3	1	1	4
*糸の長さ (cm)	20	20	20	40	40	40	60	60	60
結果	1	1	1	1.4	1.4	1.4	1.7	1.7	1.7

*糸の長さは、糸をつるした位置からおもりの中心までの長さとする。

図



【問題 1】 **みなみさん**は、振り子の運動（1往復する時間）は、おもりの重さ、振れ幅、糸の長さに関係があると考え、実験を計画しました。ところが、実験結果から、「振り子の運動（1往復する時間）は、おもりの重さ、振れ幅には関係なく、糸の長さによって変わる」ということを、**みなみさん**は見いだしました。

みなみさんは、次の①～③の関係を見いだすために、どの実験結果を比較したと考えられますか。それぞれ下の**ア～カ**の中から1つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号を2回使うことはできません。

- ① 「おもりの重さ」と「振り子の運動（1往復する時間）」
- ② 「振れ幅」と「振り子の運動（1往復する時間）」
- ③ 「糸の長さ」と「振り子の運動（1往復する時間）」

- ア** : 「AとDとG」
- イ** : 「BとEとH」
- ウ** : 「CとFとI」
- エ** : 「AとB」と「DとE」と「GとH」
- オ** : 「BとC」と「EとF」と「HとI」
- カ** : 「AとC」と「DとF」と「GとI」

解答例

適性検査 I

1	[問題 1]	<p>答え： D → C → A → E → B</p> <p>解説：日本の開国から貿易の発展に至る過程を考えると、</p> <p>Dのペリー来航による開国</p> <p>→ Cの貿易を求めるアメリカを中心とする国々との条約</p> <p>→ Aの神奈川ではなく横浜を開港</p> <p>→ Eの外国人居留地と出島化（関内）</p> <p>→ Bの生糸貿易の発展 となるため。</p>
	[問題 2]	<p>答え： A</p> <p>理由：江戸につながる東海道沿いにある神奈川と、東海道からはなれた横浜の位置関係がわかり、江戸幕府にとって横浜の方が開港場として適していることを説明することができるから。</p>

適性検査 II

1	[問題 1]	<p>①「おもりの重さ」と「振り子の運動（1往復する時間）」</p> <p>答え：エ：「AとB」と「DとE」と「GとH」</p> <p>解説：「おもりの重さ」と「振り子の運動（1往復する時間）」の関係を見出すためには、「おもりの重さ」以外の条件を同じにしなければいけないため。</p>
		<p>②「振れ幅」と「振り子の運動（1往復する時間）」</p> <p>答え：カ：「AとC」と「DとF」と「GとI」</p> <p>解説：「振れ幅」と「振り子の運動（1往復する時間）」の関係を見出すためには、「振れ幅」以外の条件を同じにしなければいけないため。</p>
		<p>③「糸の長さ」と「振り子の運動（1往復する時間）」</p> <p>答え：ア：「AとDとG」</p> <p>解説：「糸の長さ」と「振り子の運動（1往復する時間）」の関係を見出すためには、「糸の長さ」以外の条件を同じにしなければいけないため。</p>